

# 東京聖栄大学第7期生学位記授与式



三月十四日に学位記授与式がわたなべ記念館において挙行されました。第七期生一六二名が聖栄会に入会されました。心からお祝い申し上げます。

# 聖栄会だより

## ご挨拶



聖栄会会長  
高橋 興亜

暖かい風が頬を伝い心地良い季節となりました。聖栄会の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。春は別れと出会いの季節で、専門職として社会に巣立って行く卒業生を送り、新入生を迎えます。卒業式、入学式と大きな行事も終わり母校のキャンパスは落ち着きを取り戻していることと思われまます。

最近、国の内外で様々なニュースが報道されており、食や栄養に関する分野においても動きがあります。国の審査なしで機能性食品表示制度がスタートすること、他には紅茶の成分が骨粗鬆症の予防効果になることがマウスの実験で立証されたこと。さらに、高齢者の低栄養が問題になっている折り、筋肉量の少ない高齢者の死亡率が二倍になることや、核家族化や高齢化の進展に伴いシルバー弁当、身障者弁当、



発行 東京聖栄大学同窓会  
聖栄会  
編集 東京聖栄大学  
聖栄会本部事務局  
〒124-8530  
東京都葛飾区西新小岩1-4-6  
TEL 03-3692-0211 (代)  
<http://www.tsc-05.ac.jp/seieikai/index.html>

治療用弁当など割安な宅配弁当が普及するなど、社会のニーズに沿った研究や開発が進められております。これらの分野で活躍されている同窓の方々が大勢いらっしゃると思います、敢えて書かせていただきました。さて、母校は平成二十五年に七号館が落成し施設の拡充が進んでおりますが、昨年の十一月二十九日には、東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園の調理室（厨房）が改修され、竣工式典にお招きをいただき施設を見ていただきました。広い敷地で収容園児が多いので施設も大きく、新しくなった調理室の厨房機器もすべてが新規で揃っていて感心いたしました。食育にも力を注ぎたいと栄養士さんが申しておりました。この素晴らしい施設環境のもとで、食育実践の場を得た園児がのびのびと育っていくことを願っております。

次に、聖栄会に関わることで、二月に千葉支部で対話集会有り、福澤理事長、松本学長、食品学科の荒木副会長、私の四人で出席いたしました。会員の意識が非常に高く各分野での活躍をお聞きし、今後拡大していく支部の模範となることを期待しております。この席で福澤理事長より荒木先生が、卒業生として初めての教授に選ばれたことが報告されました。先生は同窓会の副会長として大学と聖栄会の橋渡しをされておりますが、今後ともご指導・ご協力をいただきたいと思います。おめでとうございます。

## ご挨拶



名誉会長  
松本 信二

東京聖栄大学は開学十周年を迎え、順調に充実度を増しております。これも卒業生の皆様はじめ、関係各位の日頃のご支援のおかげと感謝しております。

今日わが国は少子化の時代を迎え、大学への進学者の絶対数の減少が年々顕著になってきています。ここ数年来定員を確保してきましたことは誠に有り難いことと思っております。とはいえ、決して余裕のある状況ではなく今後も教職員一丸となって受験生の確保に努力を重ねていくところと決まっています。

卒業後の就職状況もお陰さまで高い水準を保っております。四年制になってからの卒業生もそれぞれの職場に落ち着き始めたことで本学の名前が知られる様になったこととあるかも知れません。それに加え長い歴史を持つ学園の校友の皆さんが栄養士として、あるいは食品関連企業で活躍しておられることに負うところが大きいものと感謝しております。

本学がご承知のように、小規模ではありますが、その利点を生かした教育を進めております。少人数教育はもちろんのこと、教員と学生の距離が近いということは学生個々に合った教育が可能であり、学業のみならず学生生活全般についての相談ごとなどにもきめ細かい指導がなされております。大学全体の雰囲気も和気藹々とした空気に包まれており、学園創設以来育まれてきた「和」の精神が脈々と流れて、受け継がれている証であります。

わが国の大学全体のレベルの向上が求められておりますが、本学でも教員の研修会を開催するなど教育力の研鑽に努めているところです。そのため教員一同「和」の精神を大切にしてお互いに切磋琢磨しております。校友の皆様には折に触れお運び頂くなど、母校の更なる発展のため一層のご支援を賜りますようお願いする次第です。

## ご挨拶



名誉顧問  
福澤美喜男

新緑も鮮やかな今日この頃、聖栄会の皆様には、日々活躍のことと拝察しております。東京聖栄大学も開学して今年で十年目を迎えました。開学当初、食品学科は校名変更に加え、学科の内容が理解されなかったため、定員が充足できませんでした。教職員の努力により、全学年で定員が充足するようになりました。また管理栄養学科の管理栄養士国家試験の合格率も常に全国平均の合格率に近い数値を上げております。また、教育環境の整備では四号館にあった食品学科の調理研究室、官能検査室、生物工学研究室及び微生物学実験室、食品加工実習室を二昨年完成した七号館に移転させたため、空になった四号館のバリアフリー化と五号館にあった教養系の研究室の移転、更に共通教育センターと栄養教諭の教職課程の設置に伴う研究室の増設と教職センターを新設するために四号館の改修を行いました。

さて、聖栄会の現状ですが、長年同窓会活動に尽力された荻野会長（現在は顧問）から専門七期の高橋興亜氏が会長になりました。また就任して日も浅く、同窓会活動も特に目立った動きが見えませんが、一日も早く活気がある同窓会活動を期待しています。

最近は今までと違って、卒業生の皆さんが母校に関心を持って頂き、大学の設備拡充資金にご寄付をして頂く方が多くなりました。また、聖栄会祭などの学内開放時には、多くの卒業生が訪れるようになりました。そこで一案として、大学と聖栄会が共催でホーム・カミングデーを開くことを提言しました。このような会を開き、卒業生の活躍の様子を先生方が学生に伝えていただければ、学生により刺激を与えられると思います。

現在、第一線で活躍されている同窓生は数多く居ると思っておりますが、残念ながら、その実状を把握していません。新体制になった聖栄会には「支部の立ち上げ」を強く望みます。現在、支部らしい活動をしているのは千葉県の長生・茂原地区聖栄会（会長・中田とみ子さん、会員数四十三名）くらいです。本学の卒業生は全国にいて、それぞれの地域で活躍されていますが、卒業生同士の情報交換ができる「場」として支部が必要です。結びになります。卒業生の皆様が健康で活躍することを祈って、ご挨拶いたします。



### 平成二十六年 聖栄会総会開催

平成二十六年聖栄会総会が六月一日(日)、東京聖栄大学に於いて開催されました。

山本氏(大学一期)の開会の挨拶で始まり、高橋会長(専門七期)の挨拶の後、高橋会長が議長に、立川氏(短大三期)が副議長に選出され、議事に入りました。

飯田氏(短大三七期)から平成二十五年度事業報告、山本氏(短大二十一期)から平成二十五年度会計報告があり、会員の拍手を以て承認されました。続いて平成二十六年事業計画案と予算案が提出され、それぞれ承認されました。

総会終了後は引き続き懇親会が行われました。



### 平成二十七年 定期総会開催のご案内

平成二十七年の定期総会ならびに懇親会を左記の通り開催いたします。

記

◎日 時 六月七日(日) 定期総会 十一時から 懇親会 十二時三十分から

◎会 場 総 会 東京聖栄大学別館四階会議室 懇親会 七号館一階多目的ホール

◎懇親会費 一〇〇〇円

懇親会は七号館多目的ホールで開催いたします。皆様お誘いあわせの上、お気軽にご参加ください。

※同封のハガキで五月三十日までにお申し込みください。

※会費は当日いただきます。

※なお、欠席される場合でも必ず委任状をご投函願います。

※七号館への地図を、別館一階の受付にご用意致します。場所が分からない方はお立ち寄りください。

### 第二十六回 食文化研究会開催される

今回の食文化研究会は、中国料理の研修で隋園別館にて開催されました。隋園別館は、都内で本格的な北京料理がいただけるという評判の中国料理店ですが、新丸ビルにあるお店は異国情緒の漂う庶民的な内装のお店でした。参加者は二十七名で、食文化研究会のために考案されたコースメニューを頂きました。北京ダックは本場中国人シェフがじっくり釜焼きしてくれたもので、大変おいしく頂きました。また、隋園別館の評判料理の一品として、「合菜載帽」(やさいの五目炒め卵焼きかけ)という料理がありますが、この料理はふわふわの卵が帽子のように野菜炒めの上に載せられており、大変ユニークでおいしい一皿でした。北京料理の粉文化の代表格の餃子などの手作り点心などもたくさん出され食べ切れないほどでした。



### 第二十七回 食文化研究会開催について

食文化研究会も第二十七回を迎え、多くの会員の皆様にご参加いただいております。本年度の食文化研究会は、フランスのアルザス地方のお料理を取り上げ学びたいと思います。アルザス料理と言いつても、馴染のない方も多いと思いますが、ドイツとの国境に位置する所から、独特な調理手法が取り入れられています。料理名では「シュクルート」と呼ばれる料理が有名ですが、これはドイツではサワークラウト呼ばれ、塩漬けキャベツを白ワインで煮込んだ料理です。ドイツ料理とフランス料理を融合した味わい深い料理の数々が味わえることが出来るのがアルザス料理の魅力でもあります。

今回は都内でも本格的なアルザス料理を味わえると評判な「ブラッスリー ジョンティ」での研修です。二階席を貸切にして、ジョンティのお奨めメニューでの食事にしたいと計画しています。アルザス地方の白ワインも用意させていただきます。なお、今回は会場の関係で二十名の募集となりますので、お早めにお申し込み下さい。

記

◎日 時 平成二十七年十月四日(日) 十二時から

◎会 場 ジョンティ 台東区浅草橋

◎参加費 六〇〇〇円

◎募集定員 二十名

※参加希望の方は東京聖栄大学食品学第二研究室荒木か総務課 飯田までお申し込み下さい。

電話番号 〇三―三六九二―〇二二一(内線六三三)

お申し込み頂いた方には、後日、ご案内を差し上げます。

### 管理栄養士国家試験に チャレンジしている 皆様へ

卒業生の国家試験対策を実施しています。ホームページで卒業生用国試対策を開始しました。管理栄養士国家試験に合格するために模擬試験を受験したい方はどうぞ!!

TEL:03-3692-0211(内線152) <http://www.tsc-05.ac.jp/>

卒業生 対象 国家試験対策 在学生

↑ここから入れます。

# 同窓生通信

## 私は精一杯生きてきたの かなあ〜？

専門七期 脇原 信博

私が学生だったのは今から五十五年前のこと。その時代はどんな時代だったのだろうか。ひと夏で二百万個も売れたというダッコちゃんブーム。かつて所得倍増論を唱えた池田内閣が成立し、女性初の中山マサ厚生大臣の誕生。森永製菓が初のインスタントコーヒを発売。映画では「ウエストサイド物語」が大ヒットし、相撲は栃若、野球では巨人監督に川上哲治氏が就任。世界では、東ドイツが東西ベルリンの境界を封鎖してベルリンの壁を建設した。そして大卒の初任給はなんと一万五千七百円の時代であった。また、当時昭和三十三年の栄養士免許交付数は約三万三千二百件、平成二十五年では百八万八千四百四十四件と推移し、五十五年間で年間交付者数は実に三十三倍になった。「日本栄養士会にこの年次別交付数を問い合わせたが、栄養士会では解らないので厚労省に聞くようにと言われ、栄養士会が基本的な交付数を把握していないことに驚きを隠せなかった」ザックリ言えばこんな時代に私たち七期は二年間を聖徳で学んだ。

私は一年生の時、錦糸町の朝日新聞店で住み込みのアルバイトをしていたが、夕刊配達の際に合わないため辞めて、アザミ寮に住むことにした。南口商店街の裏道にその寮があった。入口のガラスは割れ、部屋はクモの巣だらけ、障子も襖も破れ、お化け屋敷と化していた。住めば都とはよく言ったもので、どうにか暮らせるようになった頃、埼玉

子が小学校に上がり、子育てがひと段落した頃、友達から保育園の栄養士を募集しているからやってみないかと誘われました。栄養士としての経験が無いので迷いましたが、食の大切さを伝える仕事が出来たいと思いいやらせて頂くことにしました。

二年に一回行われている「みんなの食育フェスタ」では会員が一致団結し、地域の方々が参加して楽しく実践できる健康づくりのイベントを盛大に開催しています。昨年のフェスタでは、私は保育所栄養士の皆さんと「朝ごはん劇場」で朝ご飯の大切さを伝え、興味でやっているフラダンスを皆さんとエンディングで踊りました。同じ目的に向かってひとつのものを作り上げていく楽しさと感動の中で、他施設の皆さんとの親睦を深めることが出来ました。

そして聖栄会(千葉支部)にも参加させて頂いています。同じ大学の先輩・後輩ということで、更に皆さんの絆が強く、連携しています。今年の聖栄会も、福澤美喜男理事長、松本信二学長、高橋興亜聖栄会会長、荒木裕子先生が参加して下さいました。今回は荒木先生が教授になるという嬉しい発表がありました。

食は愛情そのものだと思います。人間形成の大事な幼児期に、毎日愛を込めておいしい給食を提供することで「あなたのことが大切だよ」と伝えていきます。それが子どもの心身の成長、人格形成の基礎となると信じ、この大切な育ちの時期に係わるこの仕事の重要性和責任を感じています。

一昨年六月一日聖栄会の総会に初めて出席し、大学の構内を同期の高橋聖栄会会長に案内して頂いた。あの学校が驚くほど立派に姿を変えていた。理事長、学長を始め関係各位の言葉に言い尽くせないご努力を心から敬意を表するとともに、大学独自のブランディングを高め、更なるご発展を遂げられることを祈念しています。

管内の栄養士会の皆さんは、互いに連携をとり、情報交換したり相談したりと、それぞれの施設の皆さんとの交流が盛んに行われています。また、様々な研修会や調理実習等が行われ、色々と勉強させて頂いています。

現在の私までを振り返らせて頂くことが出来ました。結局は、自分自身がどんな想いで患者さんと関わっていくのが大切であり、規模や職場で決定することではない。

採用試験に消極的であった私に先生が「あなたなら出来る。私が保証する。」と先のことばを考えれば、それからまた先のことは考えればよい。まだ若いんだから」と数々の言葉で私の背中を押してくれました。そこまで言ってくださったことも嬉しく、「病院で仕事が出来たい」とその想いだけを持ち採用試験を受験しました。そして無事合格し、現在の職に就くことが出来ました。先生の後押しがなければ、今も悶々とした日々を送っていたかも知れません。管理栄養士として今の職場で働けることは本当に幸せだと思っています。それと同時に「管理栄養士」としての誇りを持って働くことが出来ています。もっともつと患者様の支えになり役に立てる「管理栄養士」になることが今の目標です。そしていつの日か、大学へ戻り学生へ指導ができれば、先生みたいなになれるらう。それもまた幸せだなと思っています。

最後にになりましたが、東京聖栄大学を始め聖栄会の皆様のご発展とご多幸をお祈り申し上げます

## 給食で伝えたいこと

短大三十期 今吉 樹里  
(旧姓：堀川)

私は聖徳栄養短期大学を卒業して、栄養士とは別の職に就き、結婚し、三人の子どもに恵まれました。下の



大学四期生 渡邊 太一

## 大学で得たかけがえのない存在

最後にになりましたが、東京聖栄大学を始め聖栄会の皆様のご発展とご多幸をお祈り申し上げます

お知らせ	
●入試説明会 (要予約)	
6月13日(土)	6月27日(土)
●オープンキャンパス (要予約)	
7月11日(土)	7月18日(土)
8月8日(土)	8月28日(金)
8月29日(土)	3月28日(月)*
*3月28日(月)は高校1・2年生対象	
●受験相談会 (要予約)	
9月26日(土)	10月17日(土)
11月28日(土)	

●聖栄葛飾祭 (予約不要)

11月7日(土)*	11月8日(日)*
-----------	-----------

\*受験相談コーナーを開設します

入試説明会・オープンキャンパス・  
受験相談会は  
各日とも12:30受付、  
13:00~16:00となります。

お問い合わせは  
電話 03-3692-0238  
入試相談室まで

◆聖栄葛飾祭のご案内

聖栄会では、今年も聖栄葛飾祭において別館四階を会場としてお茶席を設けます。会員の方はもちろんのこと、会員以外の方のご来場も大歓迎です。ぜひお越しください。

●日時：平成二十七年  
十一月七日(土)・八日(日)  
各日十時から十六時

## 第七回卒業研究発表会の開催

二月七日に第七回卒業研究発表会が開催され、各研究室から口頭発表五十二報、ポスター発表十三報計六十五報の研究発表がありました。今年の発表会は発表者も多く、七号館の二会場とホールでのポスター発表となりました。研究成果の一部を紹介します。

### 食品加工学研究室(片山講師)

- ・ 品種別大豆による味噌の酸化活性化について

### 食品学第二研究室(荒木教授)

- ・ タイの発酵ソーセージ・ネームについての研究

### 食品学第一研究室(筒井教授)

- ・ もち種トウモロコシの利用に関する研究

### 微生物学研究室(丸井教授)

- ・ チューブ加工わさびと生わさびの蒸散暴露による抗菌作用の違い

### 調理学第三研究室(大須賀准教授)

- ・ 真空ジュースミキサーを用いたジュースの特性

### 食品開発研究室(井筒教授)

- ・ 牛肉のテクスチャーに及ぼす副材料の影響

### 食品衛生学研究室(伏脇教授)

- ・ ツキヨノタケの柄元に認められる黒シミ中の毒成分について

### 栄養学研究室(前田教授)

- ・ 黒ならびに白エゴマ種子が血清中脂質成分に及ぼす影響について

### 調理学第二研究室(吉田講師)

- ・ 家庭での乾燥野菜について



## 体 育 祭

平成26年5月30日(金)、船橋グラウンドに於いて体育祭が開催され、聖栄会は協賛参加しました。当日は晴天に恵まれ、100m走やムカデ競争、クラス対抗リレーなど多くの競技が実施され、歓喜につつまれた体育祭となりました。聖栄会では総合優勝した1クラスに会長賞、出席率100%の3クラスにチームワーク賞を授与しました。



## 聖 栄 葛 飾 祭

平成26年11月8日(土)・9日(日)に、『聖栄葛飾祭』が開催されました。今回のテーマは「一食入魂 ～ True love for foods～」で、テーマに合わせて出店や装飾がなされました。

聖栄会では、毎年恒例のお茶席を設け、多くの卒業生が来場されました。また、学友会主催のチャリティーもちつきに協賛参加しました。平成27年度『聖栄葛飾祭』は11月7日(土)・8日(日)に開催されます。詳細は大学・聖栄会のホームページをご確認ください。多くの卒業生の方のご来場をお待ちしております。



## 管理栄養学科 宿泊研修(葛西臨海公園)

本年度も管理栄養学科新入生宿泊研修は葛西臨海公園の「ホテルシーサイド江戸川」にて行われました。

研修プログラムは「仲間作り・グループワーク」から始まり同級生や上級生、先生との交流を深め、午後には橋場浩子学科長に講義をしていただき「管理栄養士」という職業について理解を深めました。夕食後は

上級生が企画したレクリエーション(抽選会)、翌日は葛西臨海公園にてバーベキューを行い大いに盛り上がりました。

二日間を通し学生同士、そして学生達と教員との信頼関係を構築する有意義な時間を過ごすことができました。

